

資料 2 10 兆円規模の大学ファンドについてのアンケートの質問

日本版 AAAS 設立準備委員会・公式ツイッターアカウントからのアンケートの呼びかけ文



日本版AAAS設立準備委員会 @jaascommittee · 2021年12月31日 ...

【アンケートのお願い】

当会・研究環境改善WGからのお願いです。

現在、研究環境改善WGでは「10兆円ファンドについての提言案」docs.google.com/document/d/1f7...

を準備しており、そのためのアンケートを実施いたします。研究関係者の皆様、ご回答、よろしくお願いします！

10兆円規模の大学ファンドについてのアンケート

「10兆円規模の大学ファンド」とは、大学が研究環境改善のために活用する資金のことです。このアンケートは、大学が研究環境改善のために活用する資金の規模や、その活用方法について、研究関係者の意見を伺うためのものです。

「10兆円規模の大学ファンド」の活用方法について、研究関係者の意見を伺うためのアンケートです。このアンケートは、大学が研究環境改善のために活用する資金の規模や、その活用方法について、研究関係者の意見を伺うためのものです。

[docs.google.com](https://docs.google.com/document/d/1f7...)

10兆円規模の大学ファンドについてのアンケート

研究力の低下、博士課程進学者の減少といった課題に対する政策のひとつとして、「10兆円規模の大...

3 116 79



日本版AAAS設立準備委員会 @jaascommittee · 2021年12月31日 ...

アンケートの結果は提言中で活用させていただくとともに、ご回答を拝見しつつ改訂を行った上で最終版をつくる予定です。

皆様のお知り合いへSNSなどでの拡散をお願いします！

5 4



日本版AAAS 設立準備委員会

10兆円規模の大学ファンドについてのアンケート

研究力の低下、博士課程進学者の減少といった課題に対する政策のひとつとして、「10兆円規模の大学ファンド（10兆円ファンド）」と呼ばれる構想（科学技術振興機構に設置）が進められています。政府と財政投融資の枠から拠出された基金の運用益（年間約3,000億円程度の見込み）を大学に投資することになっています。

使途・配分については内閣府の「世界と伍する研究大学専門調査会」(<https://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/sekai/index.html>)で議論されており、これまでの報道からは数校の特定研究大学に集中的に投資されるというプランが有力であるようです。

10兆円ファンド構想に関連して当会の「研究環境改善ワーキンググループ」では、提言（<https://docs.google.com/document/d/1f72f2sf8QNKKatbNS5Fz2czJ9I6TU0Ptr16y6sUgOf4/edit?usp=sharing>）を出すことを検討しております。このアンケートではこの構想と提言案に関連して、みなさまのご意見をうかがいたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

日本版AAAS設立準備委員会・研究環境改善ワーキンググループ

あなたの所属をお教えてください

- ☐ 大学（指定国立大学、旧帝国大学）
- ☐ 大学（地方国立大学、公立・私立大学）
- ☐ 大学以外の公的研究機関
- ☐ 企業
- ☐ 公務員
- ☐ フリーランス
- ☐ 退職者・無職
- ☐ その他...

大学向けの競争的資金が研究者の活力を奪っている、という意見があります。これについてどの * ように思いますか。

10兆円ファンドは、大学向けの競争的資金（個別の研究者/研究グループ向けではなく、大学全体を対象とするの競争的資金）として配分されることが想定されているようです。大学向けの競争的資金については、そのための申請・報告・評価、資金獲得前後の大学内部の部局間/個人間の配分額をめぐる調整・競争、それぞれの競争的資金の要件・目標その他への対応などに、貴重な労力・時間が消費され、研究者が振り回されてしまっており、これが肝心の研究・教育へ注ぐべきリソースを奪ってしまうことがあります。不採択の場合には申請にかけた労力は無駄になり、採択された場合でも報告・評価や次の申請へ向けての準備に追われることになります。

- ☐ 強くそう思う
- ☐ 概ねそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない
- ☐ その他...

世界に伍する大学を持続的に成長させるためには、一部の限られた研究大学のみにはリソースを配 * 分するのではなく、日本の大学の総体からなる知の生態系全体に栄養を補給することが大切である、という意見があります。これについてどのように思いますか。

トップ大学に所属し成果をだした若手・中堅研究者が地方国立大学、公立・私立大学などで独立したポストを得て優れた成果をあげる、さらにそこからトップ大学にリクルートされるといったキャリアパスがあります。また、世界に伍する研究成果を挙げるためには、トップ大学の研究者のみの努力だけでは困難であり、全国に散在する独自の知的・技術的リソースを有する研究者との協力・共創が欠かせません。少数の限られた研究大学以外の大学の活力がさらに弱まれば、トップ大学も含めた生態系全体のポテンシャルも弱まってしまうことが懸念されています。

- ☐ 強くそう思う
- ☐ 概ねそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない
- ☐ その他...

あなたの立場をお教えてください *

- ☐ 教授/教授相当（任期無し）
- ☐ 教授/教授相当（任期付き）
- ☐ 准教授・講師/准教授・講師相当（任期無し）
- ☐ 准教授・講師/准教授・講師相当（任期付き）
- ☐ 助教・助手/助教・助手相当（任期無し）
- ☐ 助教・助手/助教・助手相当（任期付き）
- ☐ 専業非常勤講師
- ☐ 博士研究員
- ☐ 学生（学部生・大学院生）
- ☐ 研究員（企業等）
- ☐ その他...

あなたの所属機関は10兆円ファンドの支援対象となる大学と予想されますか？ *

最近の報道によれば、「支援対象となる「特定研究大学」は国公立・私立大学から公募し、23年度にも決める。当初は2〜3校で段階的に6校程度に拡大する。」とされています。<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO78580740Q1A221C2PE8000/>

- ☐ 選定される可能性が高い
- ☐ 選定される可能性はある程度ある
- ☐ 選定される可能性はほぼない
- ☐ 大学には所属していない。

世界に伍する大学を持続的に成長させるためには、一部の限られた研究大学のみにリソースを配^{*}分するのではなく、日本の大学の総体からなる知の生態系全体に栄養を補給することが大切である、という意見があります。これについてどのように思いますか。

トップ大学に所属し成果をだした若手・中堅研究者が地方国立大学、公立・私立大学などで独立したポストを得て優れた成果をあげる、さらにそこからトップ大学にリクルートされるといったキャリアパスがあります。また、世界に伍する研究成果を挙げるためには、トップ大学の研究者のみの努力だけでは困難であり、全国に散在する独自の知的・技術的リソースを有する研究者との協力・共創が欠かせません。少数の限られた研究大学以外の大学の活力がさらに弱まれば、トップ大学も含めた生態系全体のポテンシャルも弱まってしまうことが懸念されています。

- ☐ 強くそう思う
- ☐ 概ねそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない
- ☐ その他...

10兆円ファンドは文部科学省の科学研究費補助金（科研費）の充実と安定化に活用いただきたく^{*}い、という要望があります。これについてどのように思いますか。

文部科学省の科研費は、現在、日本に存在する競争的資金の中でもっとも公平性・公正性が高いと言われています。科研費であれば、地方国立大学、公立・私立大学、各種研究機関に在籍する研究適性の高い研究者にも公平・公正に研究費が配分されることとなります。科研費には研究者の自由な好奇心に基づいた研究をサポートする基盤研究の他、学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導し新興・融合分野を拓く「学術変革領域」や「挑戦的研究」などもあります。政策的に重要な戦略重点分野があれば、従来存在した「重点領域」のような区分を作ることも可能と考えられます。配分額、採択率を上げるだけであれば、申請・評価のための労力はほとんど増えません。「間接経費」が大学の収入となることにより、研究者をサポートする環境を整備するための大学のモチベーションも上がり、時代の知の創出につながる研究基盤へ再投資されることも期待されます。

- ☐ 強くそう思う
- ☐ 概ねそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない
- ☐ その他...

10兆円ファンドによる若手の支援策として、日本学術振興会の特別研究員の枠の拡充をお願いしたい、という要望があります。これについてどのように思いますか。 *

10兆円ファンドの一部は、大学院生の支援に活用されることが検討されています。「最終取りまとめ（案）」には、「大学ファンドから大学博士課程、若手研究者への支援については、すべての大学を自動的に対象とするのではなく、これらの人材育成のビジョンを明確にし、真に社会に貢献する人材を輩出することが確認された大学のみ対象とすべき。」との記載があります。これについて、一部の大学のみで大学院生を対象を限定するのではなく、広く大学院生向けの日本学術振興会の特別研究員の枠を拡充していただくのがよいのではないか、という意見があります。特別研究員の選考方法は、公平性・公正性も高いものであり、科研費の審査と同様によく練られたものとなっています。また、採択率を上げるだけであれば選考にかかる手間もそれほど増えず、効率的と考えられます。

- ☐ 強くそう思う
- ☐ 概ねそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない
- ☐ その他...

日本の科学技術力の凋落の背景の一つには、若手・中堅など、現場で実際に研究に関わっている様々な立場の当事者の声が、施策に十分に反映されていなかったことがあるという考え方があります。これについてどのように思いますか。 *

- ☐ 強くそう思う
- ☐ 概ねそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない
- ☐ その他...

ファンド支援対象となる世界と伍する研究大学には年3%の事業規模の成長を達成する目標が課^{*}されることになっています。これについてどのように思いますか。

「世界と伍する研究大学の在り方について最終まとめ骨子（案）」では、「（前略）ファンド支援対象となる世界と伍する研究大学には年3%の事業規模の成長を達成し、大学独自の基金の拡充を確実に行うことで、自律的財政基盤を強化し、新たな分野や若手への支援など次代を見据えたビジョンの具現化に向け、資金循環の形成と学内の資源配分を行うことができるガバナンスが求められる。」とされています。

- ☐ 強く賛成する
- ☐ 概ね賛成する
- ☐ あまり賛成しない
- ☐ 全く賛成しない
- ☐ よくわからない
- ☐ その他...

世界に伍する大学を日本で形成するために有効な手段として、あなたの考えに近いものはどれでしょう（最大2つまで選択してください）。

- ☐ 数校の選別された研究大学のみに限定的に配分する（現行の計画、大学単位）
- ☐ すべての国立大学に運営費交付金として配分する（大学単位）
- ☐ 文科省・科研費と学振・特別研究員の採択率・総額を増大させる（研究者/研究者グループ単位）
- ☐ JST、AMED、NEDOなどの研究費を拡充する（研究者/研究者グループ単位）
- ☐ その他...

「10兆円ファンド」構想も含め、「世界に伍する研究大学」をどのようにすれば形成できるのかについてのご意見ををお願いします。

記述式テキスト（長文回答）

以上。